

日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）の運用状況

日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）

追加型投信／国内／株式

2015年8月31日

- 当ファンドは、2015年8月24日に第19期の決算を迎えました。
- 当レポートでは、第19期の投資環境や基準価額の推移、基準価額へ寄与した主な業種と銘柄について振り返ります。
- 株式市場は荒い値動きとなっていますが、こうした局面は価値ある銘柄を割安な価格で投資できるチャンスでもあるととらえ、中長期的なファンドのパフォーマンス向上に努めてまいります。

1. 第19期の投資環境と基準価額の推移

当期の国内株式市場は、国内景気の回復期待、企業業績の改善、欧米市場に比べて割高感が乏しいと見られるバリュエーションなどを背景に、8月中旬にかけて上昇基調で推移しました。ただ、期末にかけては、中国の景気減速への懸念、原油価格の下落、米国の利上げ方針などへの警戒感が強まり、国内株式市場は急落しました。

このような市場環境のなか、当ファンドの基準価額は、前期（第18期）末の8,905円から第19期末には8,896円へ下落しました。

基準価額の推移



2. 基準価額に寄与した主な業種（第19期）

業種別には、訪日外国人の増加や国内景気の回復による恩恵を受けると考えた化学やサービス業、設備投資や販促費などのコスト削減により収益改善が見込まれる情報・通信業などが基準価額にプラスに寄与しました。一方、原油価格をはじめとする商品市況の下落が業績に悪影響を与えたと考えられた卸売業、中国をはじめとする新興国の需要鈍化で販売台数の減少が懸念された輸送用機器などが基準価額にマイナスに寄与しました。

プラス寄与業種

	業種名
1	化学
2	サービス業
3	情報・通信業

マイナス寄与業種

	業種名
1	卸売業
2	輸送用機器
3	証券、商品先物取引業

3. 基準価額に寄与した主な銘柄（第19期）

銘柄別では、コスト削減や株主還元強化が好感されたNTTドコモ、訪日外国人の増加や国内景気の回復を受け、商業施設の増加及び改装による収益改善が期待できると考えた乃村工藝社、訪日外国人に人気の高い高級化粧品の販売増加が期待されたポーラ・オルビスホールディングスなどの株価上昇が基準価額にプラスに寄与しました。

一方、買い付け後に株式市場の急落の影響を受けたコーエーテクモホールディングス、海外の景気減速の影響が懸念されたトヨタ自動車、商品市況の下落による減損の拡大が懸念された伊藤忠商事の株価下落などが基準価額にマイナスに寄与しました。

プラス寄与銘柄

	銘柄名
1	NTTドコモ
2	乃村工藝社
3	ポーラ・オルビスホールディングス

マイナス寄与銘柄

	銘柄名
1	コーエーテクモホールディングス
2	トヨタ自動車
3	伊藤忠商事

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）
追加型投信／国内／株式

運用状況

（作成基準日：2015年8月24日）

■ ファンドの状況

基準価額	8,896円
純資産総額	419,515,315円
マザーファンド組入比率	98.0%
実質株式組入比率	89.7%
組入銘柄数	31銘柄

※基準価額は1万口当たりです。

■ 組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	情報・通信業	14.2 %
2	化学	10.1 %
3	銀行業	8.4 %
4	医薬品	8.4 %
5	電気機器	6.9 %
6	輸送用機器	6.7 %
7	建設業	5.9 %
8	証券、商品先物取引業	5.1 %
9	卸売業	4.6 %
10	食料品	4.2 %

※構成比は当ファンドの純資産総額に対する実質比率です。

■ 組入上位20銘柄

順位	銘柄名	構成比	順位	銘柄名	構成比
1	ボーラ・オルビスホールディングス	4.4 %	11	アステラス製薬	3.0 %
2	NTTドコモ	4.3 %	12	電気化学工業	2.9 %
3	日本たばこ産業	4.2 %	13	積水ハウス	2.9 %
4	トヨタ自動車	3.7 %	14	日東電工	2.9 %
5	日本航空	3.5 %	15	三井住友フィナンシャルグループ	2.8 %
6	コーエーテクモホールディングス	3.5 %	16	カシオ計算機	2.8 %
7	日本電信電話	3.4 %	17	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.8 %
8	KDDI	3.1 %	18	大塚ホールディングス	2.7 %
9	日産自動車	3.0 %	19	武田薬品工業	2.7 %
10	大東建託	3.0 %	20	あおぞら銀行	2.7 %

※構成比は当ファンドの純資産総額に対する実質比率です。

日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）ファンドの特色

- 収益性、成長性、業績変化率等から割安と判断され、株価の上昇が期待できる銘柄へ投資します。
- 定量的スクリーニング（業績動向、配当利回り、PERなど）により割安度を判断するとともに、リサーチによるスクリーニング（企業の競争力、株主還元策、配当政策など）を行い、財務の健全性、流動性を考慮のうえ投資銘柄を決定します。
- 組入れ株式全体の予想配当利回り（加重平均）が、市場平均（加重平均、今期予想ベース）を上回るようポートフォリオを構築します。
- 市況動向等への対応のため、株価指数先物取引等を活用することがあります。
- マザーファンドの受益証券の組入比率は、高位を保つことを基本とします。
- 株式以外の資産への実質投資割合（マザーファンドの投資信託財産に属する株式以外の資産のうち、投資信託財産に属するとみなした割合を含みます。）は、原則として、投資信託財産総額の50%以下とします。
- 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。



（作成：エクイティ運用部）

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）
追加型投信／国内／株式

日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
 - ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.62%（税抜1.50%）
 - その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0108%(税抜0.01%)
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等マザーファンドの当該費用を間接的にご負担いただきます。（運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

**日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）
追加型投信／国内／株式**
2015年8月31日現在
販売会社

（受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。）

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡安証券株式会社	近畿財務局長(金商)第8号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
荘内証券株式会社	東北財務局長(金商)第1号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
むさし証券株式会社	関東財務局長(金商)第105号	○			○
明和證券株式会社	関東財務局長(金商)第185号	○			
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三京証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

<本資料に関するお問合わせ先>
カスタマーサービス部 フリーダイヤル 0120-048-214（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）